

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

チャイコフスキー&ブラームス 二大名曲を聴く 至福の土日午後

ニューヨーク・フィルやバイエルン放送響を振り、
名門ロンドン・フィルの首席指揮者を務める俊英
指揮=エドワード・ガードナー
Conductor= EDWARD GARDNER

ディレクターズ:
歌劇「村のロンド」と「ジュリエット」から「楽園への道」
DELUS: "The Walk to the Paradise Garden" from "A Village Romeo and Juliet"
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番 作品23
TCHAIKOVSKY: Piano Concerto No.1 in B-flat minor, op. 23
ブラームス: 交響曲第1番 作品68
BRAHMS: Symphony No. 1 in C minor, op. 68

息を呑むような美音と知的な表現力を持ち、
欧州で注目を浴びる“ピアノの詩人”

ピアノ=パヴェル・コレスニコフ

Piano= PAVEL KOLESNIKOV

©Eva Vermandel

読売日本交響楽団 第281回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 281

2025 10.25 (土)
Saturday, 25 October 2025

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

英国の名匠が振る《情熱のブラームス》 ピアノの詩人が奏でるチャイコフスキーの名旋律



© Benjamin Ealovega

エドワード・ガードナー (指揮) Edward Gardner, Conductor

シンフォニーとオペラの両方で活躍している英国を代表するマエストロ。2021年から、ハイティンク、ショルティ、メスト、マズアら巨匠が歴任した名門ロンドン・フィルの首席指揮者を務め、幅広いレパートリーで腕を振っている。24年からはノルウェー国立歌劇場の音楽監督も兼務している。ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響、ベルリン国立歌劇場管、クリーヴランド管、ウィーン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管などの欧米の楽団に客演。オペラでは、07年から15年までイングリッシュ・ナショナル・オペラの音楽監督として高い評価を得たほか、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ、バイエルン国立歌劇場などでも活躍している。読響初登場。

前半には、ロシアのシベリア生まれで、現在はロンドンを拠点に欧州で活躍している気鋭パヴェル・コレスニコフが登場します。コレスニコフは、息を呑むような美しい音色と繊細な表現力を持つことから「ピアノの詩人」と称されています。人気の高いチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番で、切れ味鋭く重量感のあるタッチで壮大なスケールを築き、名旋律をエレガントかつ詩的に紡ぐでしょう。名曲に新たな光を当てるコレスニコフの独自の感性に、ご期待ください。

1曲目は、英国の後期ロマン派の作曲家ディーリアスの代表作「楽園への道」。少年と少女の悲恋の物語である歌劇「村のロミオとジュリエット」の間奏曲として書かれたもので、二人が楽園という愛の死の旅に向かう情景を印象派的な音楽で描いています。オペラにも長けたガードナーのタクトは、甘くも儚い世界を浮かび上がらせるでしょう。

約1年間、休館していた東京芸術劇場が9月に再オープンし、10月から読響の《土曜・日曜マチネーシリーズ》が戻ってきます。

英国の俊英指揮者エドワード・ガードナーが初めて読響の指揮台に上がります。ガードナーは現在、名門ロンドン・フィルの首席指揮者を務めており、ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座など世界各地の楽団や歌劇場で活躍し、高い評価を得ています。

今回は、ブラームス、チャイコフスキー、ディーリアスの3つのロマン派音楽を披露します。メインとなるブラームスの交響曲第1番は、構想から20年以上もの歳月を費やして完成させた作曲家最初の交響曲。悲痛に満ちた冒頭から、情熱や慰み、人間味あふれる様々な楽想が姿を現し、不朽の名作として愛されています。終楽章では、苦悩を乗り越えた輝かしい歓喜のフィナーレが鳴り響き、会場を熱狂へと誘います。ガードナーの巧みなタクトは、各楽器を伸びやかに歌わせ、読響から豊潤な響きを引き出すでしょう。



© Eva Vermandel

パヴェル・コレスニコフ (ピアノ) Pavel Kolesnikov, Piano

独創的な解釈と繊細かつ詩的な演奏を繰り広げ、欧米で注目を浴びる新星。カナダのホーネンズ国際コンクールで優勝。ロンドンを拠点とし、ロンドン響、BBC響、バーミンガム市響、ロンドン・フィル、バルセロナ響、ロシア・ナショナル管、トロント響などと共演。世界各地でリサイタルを行っており、ザ・テレグラフ紙から5つ星の評価を受け「最も忘れがたいコンサートのひとつ」と絶賛された。BBCプロムス、オールドバラ音楽祭、香港芸術祭などに出演。ハイベリオン・レーベルからCDをリリース。コンテンポラリーダンス界の大御所A.T.ドゥ・ケースマイケルに指名され、ウィーン芸術週間をはじめ欧州各地でJ.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」で共演し、大きな話題を呼んだ。

読売日本交響楽団 第281回 土曜マチネーシリーズ

2025年 **10月25日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第281回 日曜マチネーシリーズ

2025年 **10月26日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【観客】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115 (予約受付: 平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296